

日本唯一の抗道ラドン浴
映画化プロジェクト

RADON

もう一度だけ
懸けてみたいことがある



ラドンの奇跡



1日限定
イベント
上映会

2026 5月2日 土

チケット

予告編

会場

ヒューマントラストシネマ有楽町

東京都千代田区有楽町2丁目7-1有楽町イトシア・イトシアプラザ4階



会場 シアター1/161席 受付/開場 19:00 上映 19:30 - 21:40 料金 自由席 2000円
(舞台挨拶あり/多少の前後あり)

■イベント上映会の為、ヒューマントラストシネマ有楽町でのHPチケット販売、券売機でのチケット販売はありません。
■お席には必ず10分前には御着席下さい。
■自由席のみの販売となります。譲り合って貴から順に御着席下さい。

【企画】 富樫の里 【映画制作】 JUGEM COMPANY 【協力】 姫路市
【支援】 姫路フィルムコミッション



25107-A

ラドンに人生をかけた男。挫折の連続の先に起きた奇跡の数々。

「富栖の里」創設者 亀井義明の執念の軌跡



奇跡は起る

ある日を境に彼の人生は大きく動き出す。舞台は、姫路市の北部・安富町の山あいひっそりと眠る、忘れられた金鉦山の跡地——。かつて栄華を誇ったその場所は、今や誰も寄りつかぬ廃墟同然となっていた。だが、ある時、運命に導かれるようにその場所を訪れた亀井はそこで思いもかけない“不思議な魅力”を感じる。調査の末に判明したのは、適度な量のラドンガスが自然湧出しているという事だった。ラドン——それは自然由来の、目に見えぬ放射性的の気体。一方で、古くからラドン温泉として日本中で親しまれている。ラドン×鉦山跡の発見と出会いに、亀井はすべてをかける決意をした。資金をつぎ込み、様々な反対や問題を乗り越え、鉦山跡に自らの手で坑道ラドン浴施設である「富栖の里」を開設。ついに新しい“命の拠点”を作り上げたのだ。

——その信念は、単なる執着か。
——あるいは、時代が追いつかなかった先駆者の姿か。

映画「ラドンの奇跡」は、一人の男の静かなる革命の記録である。彼が綴った手記、記録写真、周囲の証言など、史実に基づき映画化。「健康への希望」と「放射線への誤解」のはざまに揺れる現代に、改めて問う。癒しとは何か。信じるとは何か。そして、「生きる」とは。

原子番号
86
RADON



亀井義明(本人)
-かめい よしあき-

富栖の里の創設者であり、現会長。多くの苦難を乗り越えて富栖の里を設立。温厚ではがらかな人柄を持ち、周囲の誰からも親しまれる存在である。その柔らかな笑顔と気さくなふるまいは、人々の心を自然と和ませ、世代や立場を越えて多くの人々に愛されている。一方で、ひとたび困難に直面すれば、持ち前の決断力と精神力を発揮し、どんな試練にも恐れず、決して諦めることなく前に進む。その揺るぎない意志と行動力は、多くの人に勇気を与えている。さらに、まじめな一面の裏に、時折見せるおちゃめな表情やユーモアも、亀井の大きな魅力のひとつである。そのバランスの取れた人間性こそが、彼の周囲に信頼と笑顔を生み出している理由であろう。

